

第723号

発行所
〒036-8045 弘前市大字野田2丁目2の1
津軽保健生活協同組合
発行責任者 村上 渡
電話 0172-33-7515
ホームページ http://www.tsugaru-health.coop
Eメール kenkou@tsugaru-health.coop
印刷所 やまと印刷株式会社
◎組合員の購読料は出資金に含まれます

協同で創る健やかライフ

健康

●日本国憲法より●

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

健生病院はHPHネットワーク加盟病院です

ヘルス プロモーション ホスピタル = 健康増進活動 拠点病院



わたなの生き生きサークル

「ヘルスプロモーション」とは？

「ヘルスプロモーション」とは、「人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス」とWHOは定義しています（オタワ憲章1986年）。これだけだと、やはり元気な人が行う健康増進のよう

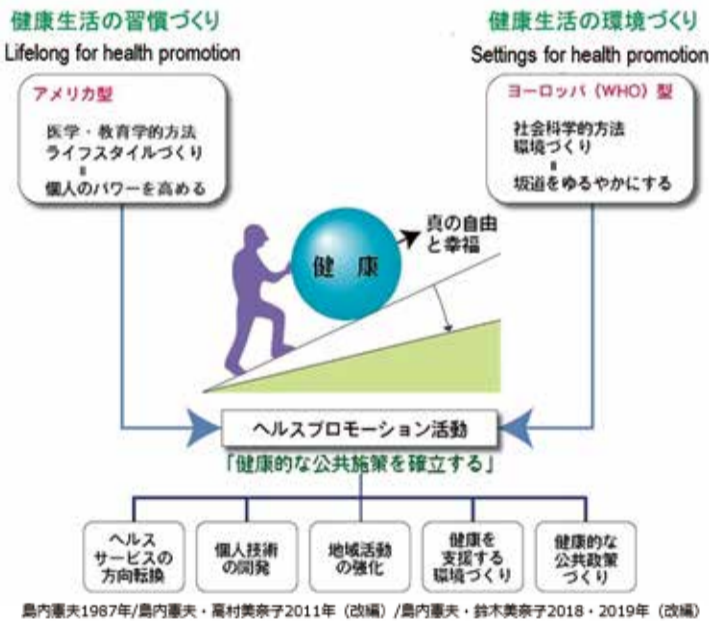
健生病院は、WHOが推奨する国際ヘルス・プロモーション・ホスピタル（HPH）ネットワークに加盟しています。HPHとはすべての人が健康に生きられるよう活動を行う拠点病院です。全国に121事業所があり、健生病院は2012年、7番目に加盟しました。その役割は病院に治療に来る患者さんの健康だけでなく、病院で働くスタッフや地域住民の健康づくり、さらにはそれを実現するための社会のあり方についても活動することです。

「ヘルスプロモーション」とは、心身が完全な状態ではなかったとしても、自分が持っている力を十分に使う状態のことです。以上ことからヘルスプロモーションとは、「予防という点だけでなく、医療・介護の現場なども含めあらゆる場面で、健康な人も病気や障

に疾病又は病弱の存在しないことではない」と定義しています。非常に理解しにくい表現なので、ナイチンゲールが看護書で示した定義を紹介いたします。「健康とは、良い状態をさすだけでなく、自分が持っている力を十分に活用できている状態」です。つまり健康とは単に元気がどうかではなく、心身が完全な状態ではなかったとしても、自分が持っている力を十分に活用できている状態のことです。

健康格差、どんな報告がある？
・地域の平均所得が100万円増えると無歯顎（歯が0本）は減少
・男性の肥満による死亡リスクは低所得者で約2倍高くなる
・高齢者のうつ割合には市町村間に1.7倍の地域差。地域の人のサポートの授受が豊かだと減る
・笑わない人は、脳卒中リスクが1.6倍増える
・独居男性はひとり暮らしで食事をしていないと2.7倍うつになりやすい
・東日本大震災の地域の結びつきがPTSD（心的外傷後ストレス障害）発症を4分の3に抑制
（日本老年学的評価研究JAGESの発表より）

としても、周辺に運動する場所が無かったり、ジムに通うお金が無かったりなど環境が整っていないと難しいことです。図はヘルスプロモーションの概念図です。「健康」というボールを坂の上の「豊かな人生」へ引き上げる支援の方法は、①押す人そのものの力を増強させる方法 ②坂道そのものを低くする方法の2つがあります。ヘルスプロモーションは個人に対する支援と環境調整両方にバランスよく働きかける必要があります。



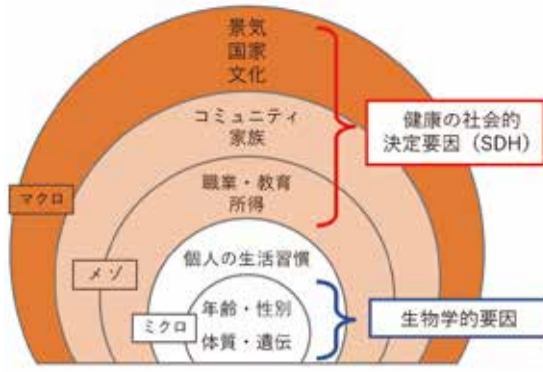
では健康に影響する因子はどのようなものがあるのでしょうか。2008年から特定健診（メタボ健診）がスタートし、病気の原因は個人の生活習慣にありそれを改善する

2面に続く

1面から続く

学歴や職業、所得や家族状況、友人・知人とのつながり(社会的ネットワーク)、さらには国(文化・政策・景気)、環境(気候や地形など)まで、多くの因子が個人の健康に影響するという事です。

健康格差はこういった



健康の社会的決定要因SDHにより生じるときは、ヘルスプロモーションを進めるためには、SDHを理解し、身近に存在するSDHの課題を見つけて解消していく事が重要になります。地域で社会のSDH課題に取り組む際に、患者の健康に必要な権利が守られ、支援が得られるよう行動を起こすことをヘルス・アドボカシーと言います。

津軽保健生協がこれまで、地域の健康を守るために率先して行ってきた数々の取り組みも、SDHに目を向けた取り組みですし、ヘルス・アドボカシーだと言えるでしょう。



2021年弘前市との交渉

健生病院での取り組み

病院がヘルスプロモーションに働きかける理由は、病院には健康に関する専門職が多くいることや、治療した患者さんの病気が悪化しないよう、再び病気になる地域で健康に暮らしていただけるように支援する役割があるからで

す。では、具体的に健生病院ではHPHとしてどのような取り組みを行っているかご紹介いたします。

患者さんに対するヘルスプロモーション

医療費でお困りの方
ご相談ください
無料または低額で診療を受けることができます
健生病院の相談窓口
サポートセンター
0172-55-7717
-窓口時間-
月曜日～金曜日: 8:30～16:40
土曜日: 8:30～12:10
「すべての人に医療を受けられる権利を」
津軽保健生活協同組合

フィットネスとして、リハビリ室を開放し運動できる環境を整えています。赤ちゃんにやさしい病院(BFH)として、産婦人科を中心に母乳育児推進に取り組んでいきます。子ども虐待防止チームでは、受診患者のうち虐待が疑われる子どもの早期発見、早期対応を行い虐待防止に取り組んでいます。

地域住民に対するヘルスプロモーション

赤ちゃんにやさしい病院(BFH)として、産婦人科を中心に母乳育児推進に取り組んでいきます。子ども虐待防止チームでは、受診患者のうち虐待が疑われる子どもの早期発見、早期対応を行い虐待防止に取り組んでいます。

病院スタッフに対するヘルスプロモーション

健生エリアでは2018年から1職場1HPという取り組みを実施しています。各職場で何かしらのヘルスプロモーション活動を、目標を立てて実施しています。これまで職員の健康のために職場での腰痛対策や職員健診の二次精査率向上、始業前体操の実施など、さまざまな取り組みが行われていきます。



職員フィットネス

また、2022年度は職員向け

対市交渉も毎年行っており、生活保護の受給に関することや薬局の無料低額診療制度の導入などについての交渉を行っています。



おこまりごとと電話相談会

ヘルスプロモーションより充実

新型コロナウイルスの流行により健康格差は拡大しました。経済的に困難を抱える人が増えたのもそうですが、それまで行われていた地域コミュニティ(班会など)がコロナを理由に中断してしまふなど、さまざまな面で健康に影響を及ぼす事象が多く発生しました。今後、社会活動が徐々にコロナ禍以前に戻っていくと予想されますが、健生病院ではこれからもより一層、SDHに目を向け、ヘルスプロモーションを充実させてまいります。(健生病院 技術部長・對馬 圭)

生協学校 70周年記念誌に込めた思い

1月25日、生協会館で生協学校が開催されました。生協学校は2019年度に開催されて以来、実に3年ぶりの開催となりました。当日は10年に一度の大寒波となり、キャンセルも多数となつてしまひ、11名の参加でした。今年度は創立70周年の記念の年ということもあり、記念誌を作成した記念誌編集委員の方の中から、三浦良成氏(元副理事長)、五十嵐吉美氏(非常勤理事)、藤田伴之氏(監事)の3名を講師に迎え、記念誌作成にあたり新たにわかったことや苦労した点についてお話しいただきました。記念誌が完成し半年以上経過しましたが、お三方の非常に熱い思いが参加者にも伝わりました。今後私たちは原点を忘れることなく、「医療を民衆の手に」のスローガンのもと、運動を展開させていこうと改めて感じました。(教育委員会 鶴ヶ谷喜之)



1月度定例理事会 (1月31日)

- 【報告事項】
 - 1月度の主な経過報告と2月・3月・4月の主な行事予定
 - 専門委員会報告
 - 12月度の月次決算報告
 - 12月度の組合員活動報告
 - 青森県医療事業協同組合理事会報告
- 【審議事項】
 - 〔議決事項〕
 - 法人所有の車両利用及び貸与等の基準改定
 - 人事の提案(診療所所長)
 - 「第98回通常総代会」の招集について(再提案)
 - 〔協議事項〕
 - 出資金(50万円以上)の相続払戻に関する手続き(提案)
 - 新型コロナウイルス感染症対応について

健生病院 ホームページ



- 病院 5-7717
- 生病院 6-5181
- クリニック 5-7707
- 医院 2-3101
- 山原診療所 5-2542
- 5診療所 3-3015
- 本部 3-7515
- センター 5-8933
- センター 5-7611
- センター 虹 0-3256
- ステーション 本所 6-8833
- グホーム 末 5-9724
- ステーション だ支所 6-5581
- ステーション 5とせ支所 3-6587
- 援センター あす 1-2731
- 第一地域センター 1-1203

